

2024年12月期 第2四半期

# 決算説明資料

**GMO**ADPARTNERS

**1. 6/25発表の再編について**

**2. 第2四半期決算概要**

**3. 参考資料**

本日はこちらの内容を皆様にご説明させていただきます。

# 1. 6/25発表の再編について

## 2. 第2四半期決算概要

## 3. 参考資料

まず、決算概要をお話しする前に、6月25日に発表させていただいたグループ再編につきまして、詳細をご説明いたします。

## 本再編の目的

- ✓ GMOインターネットグループ株式会社のインターネットインフラ事業の承継を2024/6/25に発表。2024/9/11開催の臨時株主総会において付議予定。

### 現状

## 事業環境の変化、競争の激化

- ・AI及びテクノロジーの進化により商流が変化  
Cookieの利用制限による広告配信技術の大幅な変動
- ・業界の合従連衡も進み、大手企業の資本力を活かした事業展開など、今後も競争の激化が見込まれる

### 目的

## 持続的成長の実現・企業価値の最大化

- ・GMOインターネットグループとしての連携を強化することによる
  - ①変化に対応したスピード感のある事業展開
  - ②AIや新たなテクノロジーを活用した商品開発による、新たな市場機会の創出
- ・ストック商材開発や経営資源の効率化による持続的成長の実現

※1：本再編による来期予想については2025年2月に開示予定です

※2：6月25日公表の適時開示資料も併せてご覧下さい。

6/25発表の再編について

4

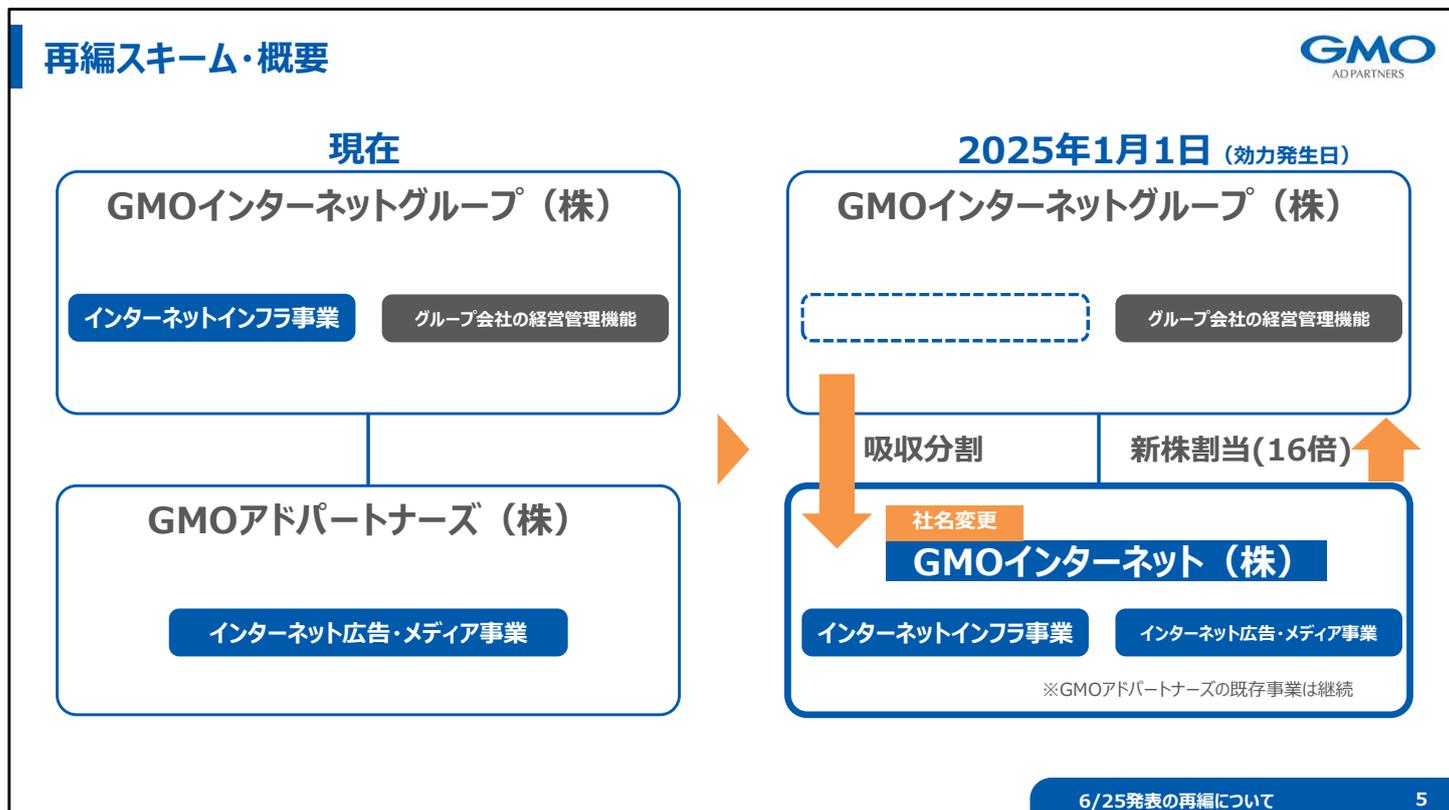
当社は6月25日に、親会社であるGMOインターネットグループ株式会社のインターネットインフラ事業を、吸収分割にて承継することを発表致しました。

現在私どもが属するインターネット広告市場は、AIの活用により広告制作や配信の技術が進化し、広告媒体と広告主の直接取引が増加しています。また、Cookieの利用制限による議論などからも事業環境の大幅な変化が継続しています。

そういった状況の中、業界の合従連衡も進むなど、市場の変動が見込まれる環境です。

こうした環境において持続的成長を実現し、企業価値を最大化していくことが今回の再編の大きな目的です。GMOインターネットグループとしての連携を強化することにより、変化に対応したスピード感のある事業展開を実現し、AIや新たなテクノロジーを活用した商品開発により、新たな成長機会を創出してまいります。

また、対象事業とのシナジーにより、ストック商材の開発や経営資源の効率化も図ってまいります。事業面におけるメリット・シナジーについては後ほどご説明させていただきます。



続いて、今回の再編スキームについてご説明させていただきます。

現在GMOインターネットグループに所属しておりますインターネットインフラ事業を、GMOアドパートナーズが吸収分割するスキームです。分割の対価として、GMOインターネットグループに新株を発行致します。

再編後の商号は「GMO アドパートナーズ株式会社」から「GMO インターネット株式会社」へと変更し、国内で幅広く認知されている「GMO インターネット」のブランドを活用してまいります。

# GMOインターネットグループの強みである 岩盤ストック収益を持つ事業



## 無くならない、無くてはならない かつ 継続課金の商材

それではここから、今回のスキームの対象となる、インターネットインフラ事業についてご説明をさせていただきます。

インターネットインフラ事業の大きな強みは、「岩盤ストック収益を持つこと」です。

岩盤ストック収益とは、無くならない、無くてはならない かつ 継続課金の商材 による収益を指しています。

ドメイン事業



契約ドメイン数

435万件

クラウド・ホスティング事業



契約件数

49万件

アクセス事業



ご契約回線

224万回線

※主要商材のみ抜粋して記載・データは2024年6月末時点のもの

6/25発表の再編について

7

こちらが岩盤ストック収益を構成する、事業の内訳です。

国内最大級のドメイン公式登録サービスである「お名前.com」を擁するドメイン事業や、ConoHaなどのレンタルサーバーなどを提供するクラウド・ホスティング事業、またGMOとくとくBBといったプロバイダーサービスを提供しているアクセス事業の3つの事業を行っています。

どれも強固な顧客基盤を持つ優れたストック商材となっています。



統合対象事業  
2023年12月期実績

売上高 **615**億円

営業利益 **61**億円

今期も  
継続して成長

※上記金額は、一定の仮定に基づき算出した社内管理数値であり、監査証明を受けていない参考値です。

6/25発表の再編について

8

対象とする事業の売上高は2023年の実績で615億円、営業利益では61億円となっております。  
今期についても継続して成長をしており、安定したストック収益基盤を持った、強い成長事業です。

AIT未来を創るNo.1企業グループへ | ③AI産業への新サービス提供



最新チップ<sup>®</sup>H200採用のGPUクラウドサービスを  
国内最速で年内提供予定

GMO

49

# GPUクラウドサービス 年内提供予定

## 開発準備も 順調に進捗

AIT未来を創るNo.1企業グループへ | ③AI産業への新サービス提供

概要

・生成AI向けGPUクラウドサービス提供に向け、**71億円**の投資を計画  
(当初概算100億円)

経産省

・補助対象58億円の1/3にあたる**19.3億円**の助成、交付は来期を予定

設備投資

・NVIDIA H200 GPU約800基の調達など

サービス

・最新チップH200、NVIDIA推奨環境を採用した**国内初**のサービス  
・24年12月以降、**国内最速**で提供開始予定

GMO

※7/25/2024 EPR2024 (1/27/2024) 4/26/24, 3/21/24 - 6/25/24 決算発表資料より

50

※2024年12月期 第1四半期 GMOインターネットグループ決算説明会 資料より抜粋

6/25発表の再編について

9

インターネットインフラ事業の今後の展開としては、今年の12月以降、最新チップを使ったGPUクラウドサービスを国内初・国内最速で提供開始予定です。

開発は現在順調に進捗しており、年内の提供に向けて準備を進めております。



## NVIDIA H200 GPU 調達完了

AIに最適化されたネットワーク技術※を採用した  
生成AI向けのGPUクラウドサービスを国内最速提供（12月予定）へ

※「NVIDIA Spectrum™-X」：NVIDIA 提供のAIワークロード専用設計された世界初のイーサネットファブリック

6/25発表の再編について

10

GPUクラウドサービスの提供に向けて、NVIDIAのH200という最新GPUを調達完了しており、順調に準備が進んでおります。

GMO  
インターネットグループ  
インフラ事業

GMO  
アドパートナーズ

No.1  
ストック商材群

マーケティング  
ノウハウ

① Web集客を

より強く

② スtock商材の

拡充

統合により、顧客獲得における極めて強いシナジーを見込んでいます。

インフラ事業には、ドメイン、ホスティング、アクセスというNo.1ストック商材群があり、その集客はWebが主なチャネルとなっています。Webマーケティングのプロ集団であるGMO-APのマーケティングノウハウをインフラ事業と組み合わせることで、Web集客がさらに強くなります。加えて、インフラ事業のもつストック商材ノウハウを活用し、インターネット広告事業のストック収益を拡充することで成長スピードの加速を目指してまいります。

## 上場予定市場

東京証券取引所 プライム市場

## 発行済株式総数

274,698,528株（想定時価総額：1,112億円）※

## 役員体制

取締役会長 熊谷 正寿

代表取締役 社長執行役員 伊藤 正（新任）

代表取締役 副社長執行役員 橋口 誠

取締役 安田 昌史

取締役 監査等委員 岩濱 みゆき

取締役 監査等委員 杉野 知包

取締役 監査等委員 鮎川 拓弥

※2024年8月7日終値 405円をベースに計算

6/25発表の再編について

12

こちらが2025年1月1日、効力発生日以降の体制です。

今回の再編により、上場先の市場が東証プライム市場に変更となる見通しです。

役員体制については、記載の通りですが、現在GMOインターネットグループ株式会社で副社長を務め、インターネットインフラ事業を管掌しております伊藤が、新たに代表取締役 社長執行役員として就任する予定であります。

## Q1：流通株式比率の適合に向けた計画はどのようになっているのか

- ・効力発生日時点の当社の流通株式比率は1.44%となる見込みです。
- ・プライム市場の上場維持基準における流通株式比率は35%です。
- ・当社は、上場維持基準適合のための改善期間である2026年12月末までにこれを充足する必要があります。
- ・GMO-IG（株）と協議の上、同社が保有する株式の市場売却や、当社での買取および消却などの改善策の実施を検討します。

それでは、ここからは、6月25日の発表以降、投資家の皆様から頂いておりました質問につきまして、改めてご説明をさせていただきます。

まず、

「流通株式比率の適合に向けた計画はどのようになっているのか」というご質問です。

開示資料にも記載がございますが、効力発生日時点において当社の流通株式比率は1.44%となる見込みです。

一方でプライム市場の上場維持基準における流通株式比率は35%となりますので、上場の維持に向け、改善期間である2026年12月末日までにこれを充足する必要があります。

流通株式比率の改善に向けては、大株主であるGMOインターネットグループと協議のうえ、同社の保有株式の市場売却や、当社での買い取り・消却といった様々な改善策の実施を検討し、上場を維持していく方針です。

Q2 : 来期以降の事業計画は

・25年2月に通期決算発表と併せ業績予想として開示する予定です。

Q3 : GMO-AP（株）の既存事業はどうなるのか？

・既存事業については、変更なくこれまで通り継続致します。

来期以降の事業計画に関するご質問も頂いておりますが、こちらについては2025年2月の通期決算発表の際、業績予想としてご説明をさせて頂く予定です。

また、当社の既存事業に関してのお問い合わせも頂いておりますが、こちらについては変更なくこれまで通り継続致します。

Q4：減資の理由は

- ・25年1月以降の発行済株式数の大幅な増加に備え、配当原資を確保することを目的としています。

Q5：複数代表取締役になるが役割の分担は

- ・伊藤・橋口の既存の管掌事業領域に応じ、それぞれ分担することを想定しております。

また、今回、9月11日に予定しております株主総会の議案に、資本金及び資本準備金の減少が含まれておりまして、そちらに関してのご質問も頂戴しております。

減資の理由については、今回の再編に伴い発行済株式数が大幅に増加を致しますので、それに備え、配当原資を確保しておくことを目的としております。

最後に、今回複数代表取締役になるため、役割分担に関してのご質問を頂いています。

こちらについては、来期以降の組織についてはまだ調整を重ねておりますが、基本的には伊藤・橋口それぞれの既存の管掌事業の領域に応じて分担することを想定しています。

再編に関するご説明は以上でございます。

説明会の最後に質疑応答の時間を設けておりますので、もしご質問がございましたらそちらでご回答いたします。

## 本資料取扱い上のご注意

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2024年8月8日現在のデータに基づいて作成されております。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

本資料に引用しております各社商標、著作物等知的財産権、並びに肖像権その他一切の権利は、当該知的財産権を有する各権利者並びにその権利の主体に帰属します。

**GMO** AD PARTNERS